



2025年7月11日

各 位

会 社 名 株式会社識学
代表者名 代表取締役社長 安藤広大
(コード番号7049 東証グロース)
問合せ先 経営推進本部長 和田垣幸生
(TEL：03-6821-7560)

2026年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社識学（東京都品川区、代表取締役社長 安藤広大）は、2025年7月11日の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年4月11日に公表いたしました2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）の通期業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年2月期通期連結業績予想の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,170	百万円 405	百万円 394	百万円 457	円 銭 52.09
今回修正予想（B）	7,100	950	954	687	81.73
増減額（B－A）	930	545	560	230	—
増減率（％）	15.1	134.6	142.1	50.3	—
（参考）前期連結実績 （2025年2月期）	5,369	330	356	426	50.06

2. 修正の理由

（1）売上高

当社の持分法適用関連会社である新生識学成長支援1号投資事業有限責任組合（以下、「新生識学ファンド」）が保有する営業投資有価証券を売却し、2026年2月期第2四半期のファンド事業において、売上高1,024百万円を計上する見込みとなりました。

（２）売上原価、販売費及び一般管理費

売上原価、販売費及び一般管理費については、以下の要因により増加する見込みです。

まず、当社のファンド事業において、新生識学ファンドが保有していた営業投資有価証券の売却に伴い、当該有価証券の原価および関連諸費用として約200百万円を計上する見込みです。

また、2026年2月期中のM&A実施目標を当初計画の1社から2社に引き上げたことに伴い、M&A関連の調査・実行に係る費用や、将来的な組織拡大を見据えた社内体制の強化に係る費用が増加する見込みです。

さらに、今後の成長領域であるハンズオン支援を担う人材の採用を強化する方針のもと、既存の組織コンサルティング事業における売上拡大に資する人材の採用活動を進めており、それに伴う採用関連費用も増加する見込みです。

（３）営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

前述の売上高の増加および売上原価・販売費及び一般管理費の増加要因を踏まえ、営業利益は950百万円（545百万円増）、経常利益は954百万円（560百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益は687百万円（230百万円増）に修正いたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上